



# 「海の駅 おしどまり」 (鴛泊港フェリーターミナル)



海の駅おしどまり 全景



1階 待合所



きっぷ売場 (旅券・車輛)



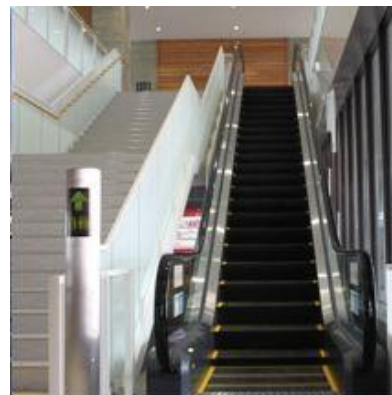
2階 待合所・乗降口



ボーディングブリッジ  
利用状況



海の駅おしどまり 全景 (海側)



エスカレーター



海の駅おしどまり 全景 (陸側)



供用式典  
(H26.3.22)

**利尻富士町**

## 事業概要

### ～“北海道内離島初の”ボーディングブリッジ～

【名称】 海の駅おしどまり（鴛泊港フェリーターミナル）

【位置】 北海道利尻郡利尻富士町鴛泊字港町235番地  
鴛泊港国有港湾施設

【構造】 鉄筋コンクリート造2階建

【規模】 敷地面積 7,350,760㎡  
延べ床面積 2,077,384㎡  
 ≪内訳≫  
 一階面積 805,670㎡  
 二階面積 1,137,654㎡  
 R階 15,750㎡  
 ボーディングブリッジ 118,310㎡

【施設の内容】 待合ホール、発券所、案内所、多機能トイレ2箇所、  
 トイレ（男女各トイレに簡易型多機能便房設置）  
 コインロッカー、エスカレーター乗降各1基、  
 エレベーター1基、ボーディングブリッジ1基、  
 授乳室、飲食店2店舗、売店1店舗、  
 キッズコーナー等

【工期】 平成24年3月28日～平成26年2月28日

【供用開始】 平成26年3月25日

## 鴛泊港 ～離島航路の変遷～

離島航路は、島民の生活交通手段であるとともに、生活必需品などを運ぶ物資輸送手段として機能しており、島民の生活の安定性の向上や産業の振興にとって重要な役割を担っています。



第一宗谷丸(537 t)

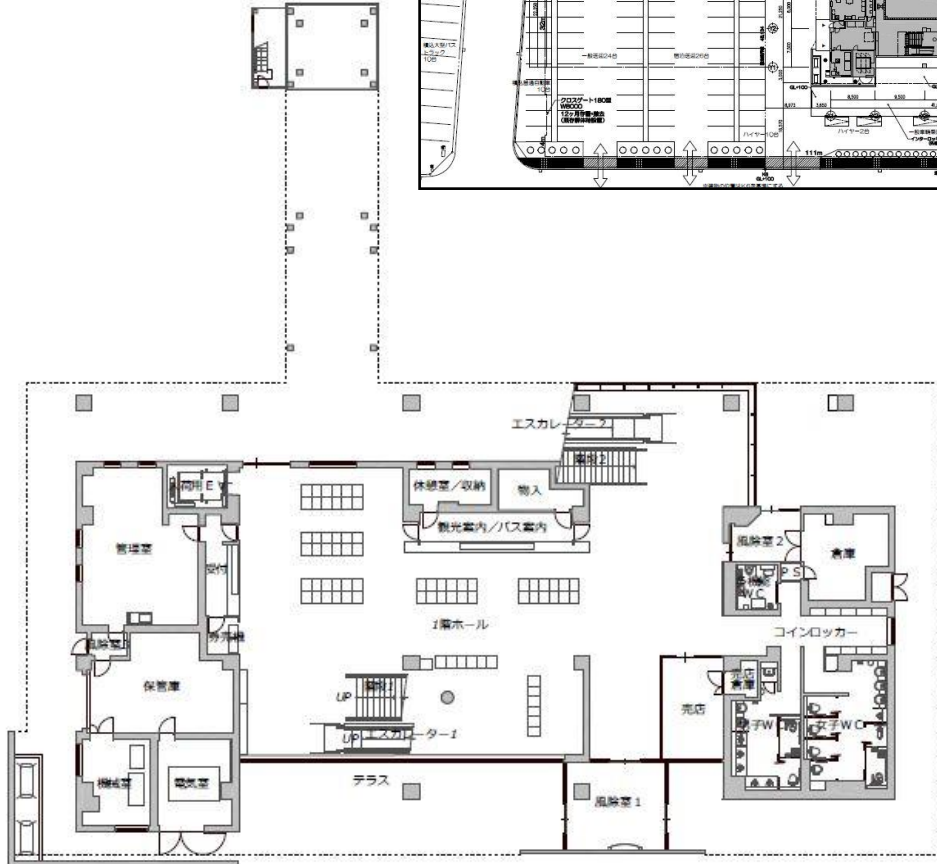
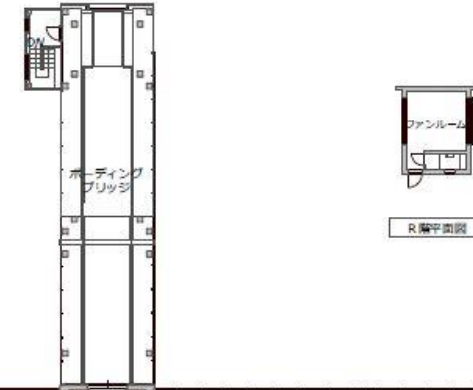
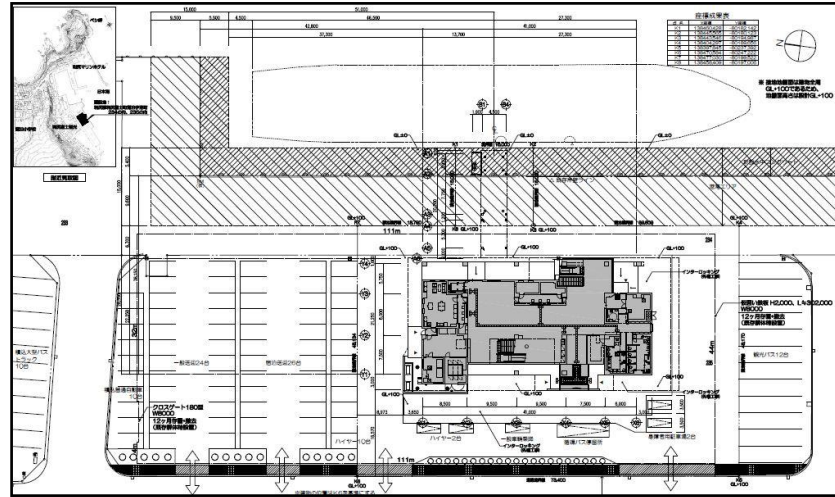
1970（昭和45年）に最初のカーフェリーが導入され、生活を支える航路として大型化を図り輸送力を強化してきました

1970	（昭和45年）	稚内利礼航路に最初のカーフェリー「第一宗谷丸(537 t)」就航
1972	（昭和47年）	「第二宗谷丸(988 t)」就航
1984	（昭和59年）	「第十宗谷丸(1,554 t)」就航
1986	（昭和61年）	「第十一宗谷丸(1,982 t)」就航
1989	（平成元年）	「ニュー宗谷(3,520 t)」就航
1992	（平成4年）	「クィーン宗谷(3,531 t)」就航
1995	（平成7年）	「プリンス宗谷(3,554 t)」就航
2001	（平成13年）	「フィルーズ宗谷(3,551 t)」就航
2003	（平成15年）	「ボレアース宗谷(3,578 t)」就航
2008	（平成20年）	「サイプリア宗谷(3,555 t)」就航
2019	（令和元年）	「アマポーラ宗谷(4,265 t)」就航

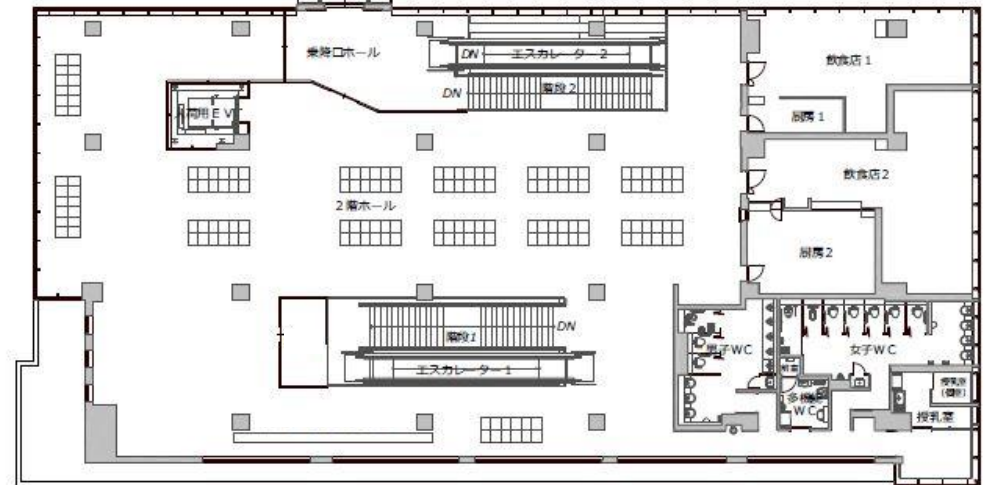




# 施設配置図・平面図



1階平面図



2階平面図